浜松南高新聞
発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷
浜松共同印刷株式会社

メガネの
駅前広小路通り
吉田屋
広小路店 53—1188(代)
浜交ビル店54—0181(代)

第六回文化展
テーマの具体化要求

短かかった準備期間
生徒の意欲低下
テーマ内容・不一致目立つ

年ごとに盛大になっている南高文化展も今年で第六回。今回は残念などに晴天にはめぐまれなかったが、新しい企画が多くとられ、盛況のうちに閉展した。今回のテーマは「創造」であったが、抽象的であったためか、内容との不一致が目立った。もっと具体的なものに考えなおすべきであったろう。中庭では、楽しく語らうグループや、フォークソングのグループもみられた。どんより曇った空の下、明るい雰囲気であった。

最近の南校文化展はマンネリ化しているといわれるが、今回での経験をもとに、新しい方向を考えていきたいものである。

第六回文化展が、九月十九・二十日の両日にわたって行なわれた。昨年から文化展の準備は、文化展準備委員会・クラブ展執行委員会・校内装飾係・フィナーレ執行委員会など必要な執行委員会から文化展執行委員に変わるという方法がとられ、ことしも実行された。文化展の感想を、生徒会本部・生徒にインタビューした結果をまとめてみると

▼テーマ

一般生徒から、テーマと内容の不一致・テーマがむずかしい・作成期間が短くて、テーマまで考えられなかった・創造性に欠けていた・などがあげられている。これは、フィナーレ・クラブ展等のかたづけを考えてのことである。

▼フィナーレ

参加した人　約四十%
参加しながら不満な人　約六十%

参加した人に感想を聞くと――生徒会の指導が悪い。進行方法が悪い・全体の協力がない・積極性に欠けている・節度がない・計画性に乏しい等悪い結果があげられている。

▼演芸会について

時間の制限が気になる・内容が充実していなかった・マイクの調整が十分でなかった・マイクの使い方が悪い・会場の人と一体になるように生徒会が指導する・時間の配分が悪いなどで、マイクの不手際について放送係では「リハーサルのときは良かったのだが、本番で雑音がはいってしまった。原因は、接続が悪かったためと、器械の能力が限界であったため」と語った。

▼マンネリ化について

慣例的にやらせるからマンネリ化する・生徒の意欲の問題・全員で盛りたてていかなければ解決できない。

▼全体に対する不満

準備期間が短い・生徒全体に成功させようという気持ちがない・活気がない・生徒が無関心である・新鮮味がない・文化クラブはもっと積極的に・時間制限をゆるめる等があり、時間制限については竹下会長は「ことしは昨年よりも自由になった方である。来年は全面的に自由にしたい」と語っている。

▼来年度への希望

全員が楽しめる新しい企画を期待・まとまりのある文化展にする・バザー展を開く・南高を主張した文化展にするなどがあげられている。生徒会では「もっと厚みのある内容にし、生徒会が主体となり文化展のよい点を伝えるようにいくように努力する」と語っている。

熱演の3年 フォークグループ
「バスルームウインドーズ」

だらしない生活態度
好奇心と誘惑から
ボーリングの許可希望

最近、校外での高校生の生活態度が問題になっている。そこで、生活態度について、南高生に意見をあげてみた。その結果、高校とか学校という一定のわくの中にはいってしまって何もできないということが不満となって、禁止行為への道を選ぶ傾向がみられた。さらにその動機として、友達の誘い興味本位ながある。いわゆる青のびの状態のあらわれで、環境が多分に左右されている。また、生徒からの要望として「健康のためにもよいものは許可してほしい」という声も聞かれた。性に、自分自身を厳しくみつめたものである。

放課後貸ロッカーを利用し
私服に着替えて町へ

現在の高校生は、規則を絶対に守るという考えをもつ者は、きわめてすくなく、逆に規則にそむく者が多いといった状態である。公衆道徳意識についても、同じことがいえる。

そこで、学校と家庭に分けて、生活意識を考えてみようではないか。学校生活に不満をもつ者は多く、理由は先生と生徒の交流不足がある。また、先生に対しては全体的にきびしく、「言行不一致態度」「ことなかれ主義態度」に多く不満をもっている。家庭生活に関する不満は、父母との話し合いの機会が少ない（相談にのってくれない）がある。つまり断絶である。また、自分自身のかたとじこもってしまい、父母を相愛げ入れないといった状態である。

このような不満が、問題多い行動を起こす原因となっているのではないか本校で高校生としての禁止行為（ボーリング・喫茶店・禁止映画・パチンコ・かけごと・飲酒など）についてアンケートを行なった。その結果、禁止行為への興味をもちはじめた年令は、非常に若く八・九才であり、十四才から十六才にかけてがもっとも目立った。また、全体的な動機としては男女ともに、友達の誘い・興味本位によるものが大多数であった。次に種別に取り上げると、飲酒の点では、正月・祭の際に、父とか親戚の人に勧められてというケースが多く、これも男女共通している。喫煙は特に男子に見られる、大人の気分を味わいたいという、いわゆる青のびの状態からという人が多い。賭事（マージャン・オートレース・競艇）については、環境に左右されることが多分にあるようだ。たとえば、父がオートレース好きであったりした場合である。

学校で許可してほしいものとしては、ボーリングが圧倒的に多かった。「りっぱなスポーツである」「健康のためにも良いのだから許可しない方がおかしい」などが

その理由である。次に多かったのは喫茶店で「静かな気分が味わえるからだ」「一時休けい所にすぎないから、許可しても良い」と思う」などの理由がでている。その他の理子からは、ビリヤード・パチンコという希望も出ている。

禁止行為について、どのように考えるかに対しては「世の中にこのようなものがある限り、スリルと風のがあたりまえだ」「人命にかかわることはよくないが、その他のことは自分の行動に責任をもてばやってもよいと思う」「ボーリングならやってもよいと思うが、他のものはちょっとどうかと思う」などがあげられた。

若いということは、高校生の特権である。そして、あらゆるものに挑戦してみたいという可能性が充分に秘められている。終着場所は自分自身の行動によって決まる。したがって自分自身に厳しく慎重に行動をとりたいものである。

但し、このアンケートに対する解答に虚実があるということを予測しとりあげたものである。

砂利道舗装される
費用は百七十二万円

八月二十日、校門から自転車置場にいたる砂利道の舗装工事が完成した。

同工事は、八月十日に着手された。玄関部はみぐるしくないようまた雨が降ると水たまりができるいたるところで、工費は百七十二万円が費やされた。

校門から昇降口までを舗装しようという意見は、先生方の間でいぶ前から出ていたが、費用の関係で二期と二期にわけて行なわれた。玄関部をさきに、または昇降口の前をさきにするなどいろいろな検討がなされた。その結果、前年の熊田校長が「生徒の使用する昇降口のほうがさきではないか」と生徒を優先し、昇降口の前をさきに一期工事として行なった。

工事完成後、教人の生徒にインタビューしてみた。

舗装工事が完成してどう思いますか。

「砂利道の時よりずっとよくなった。歩きやすいし、雨が降り水たまりができてこまることもない」

舗装工事が全部完成し、玄関部もきれいになった今、学校全体をみんなで美しくしていきたいものである。

一年生の活躍目だつ
次試合に備えて励む

▼陸上部

県新人大会西部ブロック予選が、九月五六日にかけて市営グランドで行なわれた。その結果、男子では五種競技で15HRの内藤久仁英君が、二六二一点を獲得し第一位となった。円盤投げは、21HRの田定君が、三二・七六Mを記録した。女子では、四百Mリレー決勝で惜しくも第二位におわった。また、九月二十六日には、市営グランドにおいて市内新人戦が行なわれ、これに本校は男子だけ出場した。結果は次のとおりである。

▽やり投げ
第二位　内藤久仁英（15HR）
記録　47M32
▽走り高とび
第六位　内藤久仁英（15HR）
記録　1M65
▽四百mハードル
第五位　高野直嗣（15HR）
記録　64秒5
▽八百m
第五位　伊藤公夫（21HR）
記録　2分10秒5
▽四百mリレー
第六位　内藤・和田・細井・高野
記録　46秒0
▼剣道部

十月四日、可美中において最後審査が行なわれた。その結果、22HRの伊藤正義君、25HRの佐藤成孝君の二人が、初段に合格した。

十月十一日、同じく可美中において行なわれた最後審査では、23HRの青山勇司君が最大優勝。同じく23HRの西田功雄君が同グラス一位となった。

柔道部の練習風景

▼柔道部

12HRの加茂健君、13HRの高一輝君が一級に昇級した。

居合道の試合が、九月二三日静岡で行なわれ、その結果、23HRの青山勇司君が最大優勝。同じく23HRの西田功雄君が同グラス一位となった。

▼剣道部

十月十五日には、浜松市スポーツ祭が行なわれ、これも二回戦で興誠西に敗れた。

各クラブともめだって活躍したものがなかったが、選手たちはそれなりの大会をめざして練習にいそしみつつある。今後の、剣道クラブの活躍の成果を大いに期待したいものである。

力を合せて
清掃作業

十月八日、体育大会前にして全校生徒による運動場の整備作業が行なわれた。これは、生徒会本部の「緑好の成績を」という提案によるもので、最後の仕上げ後のコンテンションで、緑好の成績を期待したい。

十月十日、校内一斉の清掃作業が行なわれたが、これは生徒の自発的なものではなかった。このような一斉作業について生徒の意見は「先生から強制されて行なわれた」という話があり、そのあと作業に取りかかった。作業は約二分程行われ、予定時間よりも終了した。

去る文化展の際にも

集団訓練の成果なし

充実した内容を望む

名所めぐりも希望

最近、集団訓練が、ただ行事として行なわれ、本来の在り方が軽視されてきている。そこで、これからの在り方を考えるために、父兄・生徒を対象として、アンケートをとった。

父兄（新聞委員）に対して、集団訓練について、どのような考えを持っているかという質問に、集団訓練は目的をおいて行なわれており、先生と生徒の人間関係に何かプラスされる面があり、現在の学生は物事に対して、けじめがないので、あることは大変よいが、その場かぎりの集団訓練の成果なしは、修学旅行の方がよい。また内容をもっと深いものにして欲しいなどが、あげられている。

修学旅行と集団訓練を比較すると、圧倒的に集団訓練の方が多くその理由として、何事もはでにならない。正しい規則や社会生活を身に付けられる等がある。

また生徒に対して、集団訓練の意義は何であるかという問いに、規律ある生活、協力性など団体生活に必要とするものを養うためである。集団の中の一員としての自覚を高め、規則の上での自分の在り方を再認識する。訓練で得たものを、学校生活に生かす・広い意味の友情を深め、友をよく知るなどがある。

修学旅行の代わりに集団訓練があることについて、毎日が充実しているし、友達との話し合いの機会が多くよい思い出がたくさんできる等の理由で、集団訓練の方がよいという意見が多いが、修学旅行の方が自由があり、知識として学ぶものがあるや、修学旅行と集団訓練の両方を行なうといった意見もある。

集団訓練の及ぼす影響については、行なっている時はよりが学校にもどろうとしても役に立っていなくて、その時だけである点が無い面が多くあげられ、良い面として時間の厳守・生徒間の親近感、団結・高校生としてとるべき態度が養われるなどがあげられていた。

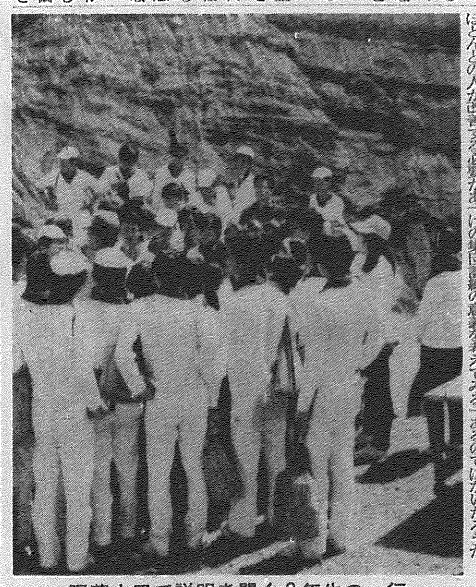
集団訓練は今までどおりで行なっていけばよいかという問いに対しては、よいと考えた人が少なくほとんどの人が改善する必要があると答えている。改善する点は、

1. 目的をはっきりさせる。
2. 内容を深くする。
3. 自治活動をもっと多くする。
4. 計画・生徒・職員の共同作業。
5. 学校行事との関連。
6. 学年がそろって行く。
7. 自治活動をもっと多くする。
8. 計画を立てる。名所めぐりをする。
9. 寝台車にしてほしいなど数々の希望が書かれていた。

このアンケートの結果、多くの人が集団訓練の意義については、規律ある生活化の維持と考えているのだが、どのような影響を与えているかという問いには、良い影響はあまりあらわれていないと答えた。これは、集団訓練をする意味がなくなってしまうし、環境の良い所まで行っての訓練は無駄である。そして、私たち南高生は今一度、自分のとるべき態度なり、自覚だけの集団訓練の意義を考えてみる必要はないだろうか。集団訓練での規律正しい生活をそのまま持続できないのは、個人の考え方・行動の仕方のまちがいであるし、又人それぞれ意義に違っていても、最終的に良い結果を生み出せばいいのである。私たちは常に、この意義を念頭置いて行動していたであろうか。いつも、かけ離していたのではないだろうか。

アンケートの中に、父兄から内容の充実化・生徒から名所めぐりをしてほしいなどの希望が出されたが、この問題については学校側で考えてもらいたい。

いずれにしても、また私たち生徒の努力と学校側の研究が必要であるのではないだろうか。



阿蘇火口で説明を聞く2年生の一行

関心薄い赤い羽根

去年を下まわる

毎年行なわれていることだが、今年も「赤い羽根」「古切手」「友情年賀はがき」による助け合いが行なわれた。

赤い羽根は全国的に広まっている共同募金でもあるので、古切手友情年賀はがきと比較すると、よく知られている。しかし、マンネリの傾向もあり、今回は少なかった。赤い羽根の売りあげ額は、一年　三千五百六十六円

二年　二千六百　二十八円。

今年も「赤い羽根」「古切手」「友情年賀はがき」による助け合いが行なわれた。

一年	二千五百九十一円
二年	二千六百　二十八円
職員	三百十円
計	九千九十五円

であった。

古切手は以前からの呼びかけにもかかわらず生徒にはさほど関心がなく集める主旨がはっきりしないせいか効果があがっていない。この運動は、日本では新しく本校では今年の前期生徒会のころから行なわれ現在もひきつづいて行なわれている。古切手の利用目的は、古切手を百枚づつ集めて、デパートに送ると、ネパールの人が予防接種を受けられるものである。今後もこの運動をつづけていくとのことで生徒会でも協力してくれるように呼びかけている。

また友情年賀はがきは生徒会の呼びかけも少なかったせいか、古切手と同様に、協力者は少なかった。

以上のように本校で行なわれた共同募金は、あまり成果があがらなかった。一般的に、高校生には共同募金に無関心な傾向があるようだ。小学生のころは赤い羽根をつけることによって喜びみたいなものがあったが中学生、高校生になるにつれて、助け合いの精神は理解できるようになったが「幼稚くさい」などという生徒もあり、共同募金のすくない原因になっている。

しかし竹下生徒会長の話しでは生徒会も、やるべき任事が多いので、ほぼほぼにしておかないと他の活動がおろそかになるというのである。またある先生は「助け合いはかりをとり決めて行なっていると、十日に一度くらいは助け合いの運動がくるから、ほぼほぼにしておいて特別生徒会ならあげなくてもよい」といわれた。

われわれは高校生であり経済的には無力である。そして限界がある。しかし募金は額の多い少ないではない。個人個人のあたたかい真心である。

国民総生産世界第二位の日本。しかしそれは上層階級だけの話。生活保護を受けている家庭がまだまだ多い。そのような人々のために全国的に広まってきた助け合いの運動をもっと広げ人々がわらって過ごせる社会をつくるために今後も募金運動には、なおいっそう協力しようではないか。

論説

愛校心を考える

最近、世間一般の考え方として「高校数以上の人が「自信が無い」と答えていた。先日の壮行会でもこの結果が裏付けされ、激励ところか消え入りそうな校歌斉唱となった。そしてその後もやじが飛び、私語が交され、会の進行は遅れた。このように壮行会一つを例にとってみても、生徒の間に何か退廃的なムードが漂っているように思われます。その他H.R役員の選出にしてもやじと拍手による無責任なおしつけ式が多いようです。そうなれば当然委員会への不信が高まり、代議制への批判が出て来るのです。このように何の事を行なうにしても、ピシッとした緊張感　言い換えれば生徒の生徒に質問してみたところ、半が大学への予備校化している」という声が多く聞かれるようになり、各方面で高校教育が問題にされています。そんな中で南高は、創立以来八年目を迎え、そろそろ新設校からの脱皮を図ろうとしている。言はば南高にとって今が一番大切な時だと言えるでしょう。これからの南高が単なる大学受験準備学校、または職業指導学校になってしまうかどうか、それはこれから私たちが作ってゆく校風によって左右されるのではないでしょうか。

ここで一つ現在の南高生について、例をあげて考えてみましょう。最近校歌を歌う機会が多くなりましたが、あなたは今三番まで歌えますか。七十人程の考え方として「高校生に質問してみたところ、半が大学への予備校化している」という声が多く聞かれるようになり、各方面で高校教育が問題にされています。そんな中で南高は、創立以来八年目を迎え、そろそろ新設校からの脱皮を図ろうとしている。言はば南高にとって今が一番大切な時だと言えるでしょう。これからの南高が単なる大学受験準備学校、または職業指導学校になってしまうかどうか、それはこれから私たちが作ってゆく校風によって左右されるのではないでしょうか。

ここで一つ現在の南高生について、例をあげて考えてみましょう。最近校歌を歌う機会が多くなりましたが、あなたは今三番まで歌えますか。七十人程の生徒に質問してみたところ、半数以上の人が「自信が無い」と答えていた。先日の壮行会でもこの結果が裏付けされ、激励ところか消え入りそうな校歌斉唱となった。そしてその後もやじが飛び、私語が交され、会の進行は遅れた。このように壮行会一つを例にとってみても、生徒の間に何か退廃的なムードが漂っているように思われます。その他H.R役員の選出にしてもやじと拍手による無責任なおしつけ式が多いようです。そうなれば当然委員会への不信が高まり、代議制への批判が出て来るのです。このように何の事を行なうにしても、ピシッとした緊張感　言い換えれば生徒の心が一つにまとまる時が失なわれつつあるのではないでしょうか。これではいけない。今の南高には何かが欠けているとは思いませんか。そこで、南高創立以来の歴史を振り返り、これから私たちの成すべきことについて、静かに考えてみましょう。

聞くところによると、我が校の一期生は、学校作りという大きな課題と真剣に取り組み、積極的に活動したという。当時草むらで石ころだらけであった運動場も、彼らの自発的な整備作業によって現在のような姿になったのである。そしてその開拓者精神のような気風が、二期生、三期生へと受け継がれて来ました。しかし現在、惜まれつつある校風の中で学んでいる私たちは、ともすると先輩たちの努力を忘れがちです。私たちの先輩をこのように活動させたものは何だったのでしょう。そして今の南高生欠けているものは……？

いろいろな面で伝統を築こうとしてきた私たちの先輩をささえていたものは、何といっても生徒一人一人が持つ学校を愛する心ではないでしょうか。そして私たちが南高の先輩たちの伝統を受け継ぐためには、やはり『愛校心』を持って、よりよい校風を築いてゆくことだと思います。幸い我が校は他の高校と比べて、新鮮で独特なものを持っています。あなたの心にも、入学した時から南高に対する『愛校心』が芽ばえているのです。いつまでも退廃ムードの三無主義のままではいられません。心の中で『愛校心』の芽を育てながら、先輩たちの努力に答えるべく、立派な校風を築いて行きましょう。

待望のペナントできる

応募者なしの応援歌

南校のペナントが新しく生徒会によって作られた。これは先ごろ、生徒会本部が生徒に呼びかけ図案を募集した。応募された十一、三点の作品の中から美術科の後藤先生をはじめ本部の係りの人、美術クラブ員、顧問の中村先生等が慎重に検討した結果、次の三人が入選と決まった。

十月九日、晴天に恵まれ第七回校内体育大会が本校グラウンドで開催された。竹下生徒会長の開会宣言のあと壮旦校長先生のあいさつ、続いて倉形運動部の選手宣誓　金綾生徒による高校生体操が行なわれた。

午前九時すぎ、百メートル予選を皮切りに次々と競技が繰り広げられた。

二年男子の回転リレーでは、思うように走れず転倒したり、まっすぐ前に進め手横を向いて走る選手が続出した。

プラスワンでは、息が合わず進めぬグループも出て応援席から「イチ・ニ」「イチ・ニ」という声援が送られていた。

クラブ対抗リレーは、バンヤ服装が各クラブ独自のもので特徴がよく出ていた。結局、運動クラブでは、男子はハンドボール、女子は陸上部が一位であった。

文化クラブは男子は裏千家、女子は一組書道、二組カナタイプが一位の栄冠を勝ち取った。

午前最後の出し物、仮装行列では二年生が奮闘し、ミニ・マキシ・和服などに身を包み、化粧をした男子が応援席に憂鬱な顔のまいていた。仮装した男子が進んで行くと悲鳴上げる女子もて、楽しいものであった。男子の女装について感想を聞くと、気持ちが悪い・よく似ていたとのことである。二万円は、時代と共に変化する女性の服装を被害していた。

なかには、側服・寒足袋で「唐高生を斬る」と叫び、従来の仮装を打破しようと試みる者も現れた。

生徒会主催のフォークダンスは昼の休憩時間を利用して行なわれたためか、参加者が少なくたいへん寂しいものであった。会場生徒は理解できるようになったが一幼稚なものがあった中学生、高校生になるにつれて、助け合いの精神は

共同募金は、無関心な傾向があるようだ。小学生のころは赤い羽根をつけることによって喜びみたいなものがあったが中学生、高校生になるにつれて、助け合いの精神は

第七回体育大会

応援合戦も華やかに

フォークダンスは全員で

HRのためにトリオでハッスル（プラスワン）

二年女子による「運動は誰？」では、賑じゅう真白にして力走する選手に応援席からは、拍手や声援が送られていた。

男子千五百メートルリレー決勝では、先生方の参加があり、力走のあまり転倒する先生も現われ、応援席はしばらくの間、笑いの渦で包まれた。

各種目も無事に終了し続いて閉会式、生徒会本部から成績の発表があり、

「男子」

優勝　二年一HR

一位　一HR（11点）

二位　二年三HR

三位　三HR

十四　HR（9点）

「女子」

優勝　二年七HR（14点）

一位　二年六HR（11点）

三位　三年八HR（9点）

以上の結果である。

今年の体育大会での応援は、男子は旗振りを作り、女子は、はちまきや体操服で、統一をはかるHRが多く、盛んな応援を繰り広げた。

体育大会は単無事終了したわけだが、山場がなく心に残るものがなかったのではないだろうか。

砂の芸術展

一ケ月早く

終了後の問題残す

毎年の行事として行なっている砂の芸術が、七月二十一日米津浜で開催された。

今回は例年よりも一ケ月も早く開催された。これは前期生徒会が九月に砂の芸術を行なうと、文化展・体育大会などの大きな行事と重なって忙しいと考え、早目に予定に組んだ。これを現在の生徒会委員の代表、名づけと教人の先生が、そのまま行なったため早く開催されたものである。

本部が今年の砂の芸術をよりよいものにするために、引き潮の時間を調べるなど、各方面に細密な計画を立て、それに従って実行したので順調にいった。

各HRの作品は、各学年の厚生委員の代表、名づけと教人の先生くの生徒は応募があることを望んでいる。そこで二日も早く南校の応募者を増生させるためにも、生徒の興味を高め健康に役立ちないようなものを作るように多くの生徒の協力を望みたいものである。

砂浜に芸術作品が生まれる

富士登山

山頂征服　気分よし

今年も例年通り、七月二十二日から二十四日まで実施に恵まれ富士登山が行なわれた。

二十二日朝、男子三十人、女子十一人、それに引率の野崎先生をはじめとする八人の先生方という構成で、浦州駅前をバスで出発東名高速道路を走り抜け新五合目まで、あと徒歩で第一目の宿舎である、六合目の山小屋へ向かった。翌日午前二時に起床、七時に山頂を征服。なんともいえない気分になる。下り専用の砂走りでは、福田先生が一着を狙ったが、一年男子二人に抜かれ惜しくも三着。そのあと中潮や河口湖を巡り、河口湖畔に一泊、三日目には鳴沢氷穴・蝙蝠洞・白糸滝などを見学した。氷穴では、通路が狭いため頭などを打つ人や、あまりの寒さにブルブル震えだす人がいた十六時に無事浜松に帰着した。バスを降りる時には、三日間共に生活した仲間と別れるのが惜しいようなようすであった。

げた箱にある牛乳びん

守られていない返還

牛乳自動販売機が設置されてから約五カ月。その間、いろいろな問題が出てきた。学校側でもこれらの問題に対し、対策を考えてきた。

最初の問題として、くずかごがあっても牛乳のふたが散らばっている、ということがあげられる。この対策として九月の中旬から、自動販売機の隣りに大きなくずかごを置いた。これはいままでの高さのくずかごでは、ふたをいれにくいため大きくした。この大きくすかごには学校側が業者と提案してみたところ、業者がサービスしてくれたもので、いわば借り物のような形である。これについて先生や生徒から、大きいから一週間くらいごみをすてに行かなくてもよい、大きければいれやすいので、たいへん便利である、などの声が聞かれた。だが完全にふたが散らばらなくなったのではない。したがって、生徒一人一人が、くずかごに牛乳のふたをいれる習慣をつけることが必要である。

牛乳びんについてはもうだろうか、いままでは一日平均700本飲まれていたが、現在ではその三分の二以下になっている。牛乳を買いにくる生徒の履歴はどのようなものか、業者にインタビューした結果、他校に比べてみると熊谷は、昼休みに自動販売機のほかに牛乳を販売しているためである。ところが、それを半円札や五百円札などで入れている人がいてたいへんめいわくしている。牛乳を飲むことは、ひじょうにけっこうであるが、牛乳の空びんを黒板やけた箱の上、廊下のはやめてほしい。牛乳箱の中、空びんを横に倒したままいってしまう人がいるから、立って並べて返ってほしいと、語った。

このような業者の話に対し、風紀委員会で、牛乳びんのあとしまつについて話し合いが行なわれた。その結果、各クラスの風紀委員がそれぞれ自分たちのクラスに置いてある牛乳の空びんを、箱にも持っていくように働きかけることになった。そして、教室に残っている空びんが少なくなったならば、二、三日まとめて見てから再び検討することに決定した。

このような問題をなくすために、生徒会員がしっかりしてほしいものである。

ブレザーを着よう！

BLAZER　ブレザーとはきずフラノであることそしてパッチポケット（はりつけ）メタルボタンであることなどです。こいつはぜひ一着持っていたいもの　黒・紺・グリーン・えんじ・キャメル等があります。¥8,900からなのです

プラザ花園店 10月15日オープン

Mr. Shop COX　浜松・有楽街●53－7225

浜名湖銘菓和風クッキー

あげ潮

ヨーロッパケーキの　まるたや

浜松市鍛冶町大通り96
TEL 52—1496 53—4708
松菱3F喫茶アントルメまるたや

写真

受験写真とポートレート

大関写真館

浜松市鍛冶町柳通り
TEL ㊷9371

読書の秋
名作を読みましょう
文庫本はいつも
豊富に揃っています

三省堂書店

本店　浜松市大工町一四二　TEL(代)五四—〇二三一
支店　浜松市平田町五二一　TEL　五二—八五〇一

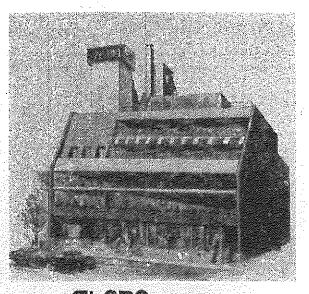
プラザ花園

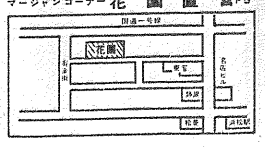
ただいまオープンセール中

ヨーロッパムードの可愛いお城
有楽街に誕生!!

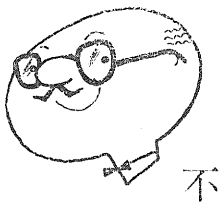
年内無休

寿司和食コーナー	花園直営	B1
中国料理	五味八珍	B1
化粧品	のばら	F1
婦人服・子供服・婦人雑貨	花園直営	F1
レディスファッション	BOUTIQUE CHURA	F2
レディスファッション	JOLLY	F2
レディスファッション	アダチ	F2
美容サロン	BIBA	F2
レディス雑貨 アクセサリー	ちぐさ	F2
レディスファッション	BIBA	F2
メンズファッション	COX	F3
和風喫茶	禅	F3
世界の民芸品 メンズアクセサリー	産業資子の店 ヒサ屋	F3
イタリアンレストラン	サニーズ	F4
マージャンコーナー	花園直営	F5





PLAZA HANAZONO
浜松市田町303
TEL〈0534〉代表54－6851



現代生活の
めまぐるしさに
不調をかこつ"人の窓"
——その心の窓に、あかるい
希望とやすらぎを与えるのが
私達の使命です

みなさまの視力センター
安心堂メガネ
浜松市田町13の3 遠鉄名店ビル北隣
沼津市大手町14 富士急名店会館2F

新刊書籍
雑誌
参考書
辞典
地図
文庫

浜松市連尺町角
文泉堂

深夜放送 人気高まる

聞きながら勉強 南高にも多いファン

最近のスターの中にいまそはあまり注目されなかったラジオのアナウンサー、ディスク・ジョッキーがいる。南高生の中でも大部分の生徒が、耳にしたことがあるのではないだろうか。新聞部では、各学年（普通科・商業科）一クラスづつを対象に〝深夜放送〟についてと題し、アンケートを行なってみたところ、結果は次の通りであった。

去年生まれた新しいスターの中にいままではあまり注目されなかったラジオのアナウンサー、ディスク・ジョッキーがいる。斉藤安弘・土居まさる・今仁哲夫・亀渕昭信がその代表的存在だが、それ以外の地方放送局にも人気アナウンサーがおり、それぞれがファンをつかんでいる。南高生の中でも大部分の生徒が、耳にしたことがあるのではないだろうか。

新聞部では、各学年（普通科・商業科）一クラスづつを対象に〝深夜放送〟についてと題し、アンケートを行なってみたところ、結果は次の通りであった。

(1)深夜放送を聞いていますか。

ア	はい	23%
イ	いいえ	47%
ウ	時々聞く	30%

(2)勉強と放送のどちらに重点を置いて聞くか。

ア	勉強	29%
イ	どちらともいえない	28%
ウ	放送	43%

(3)何時ごろまで聞くか。

イ	一時	27%
エ	二時	34%
カ	三時	19%
ク	四時	6%
コ	五時	14%

最後に「深夜放送を聞くのか」という質問に対しては、音楽が好きだから、ディスク・ジョッキーの話がおもしろい、楽しくしている、眠れないから、他に用事がありついでに聞いている等が多くあった。中には「ばかばかしいと思っていても、彼（彼女）の事を考えていると眠れないから聞いている」という涙ぐましい文章も書かれていた。またアンケートの資料に基づき「深夜放送を聞くか聞かないか」について各学年対象に調べたところ、次の通りであった。（%は聞いている側）

一年	男子	63%	女子 34%
二年	男子	62%	女子 30%
三年	男子	77%	女子 64%

やはり三年生は受験勉強のため遅くまでいたのではないだろうか。

これに対して松下先生は、代表として「国体は参加することに意義があるが、しかし、出場するからには勝つことを目標にしてがんばってきたい」と述べられた。

この後、加藤副会長の指揮で校歌を斉唱したが、声が小さく壮行会にはふさわしい歌い方ではなかった。校歌斉唱を終え三十分間に亘る岩手国体出場者の壮行会を終了した。

壮行会について生徒にインタビューすると校歌は賛週に使うし、また応援歌がなくて、壮行会のイメージがなかった。またたいへん退屈で静かであった。ブラスバンドが出たにしても、器楽部が、何か演奏して激励すべきだ。という声があった。力強い応援歌で選手を励ます壮行会にしたいものだ。

国体出場選手が出かけようになったのは、伝統を築こうとしている我が校にとって、大変喜ばしくかつ意義のあることである。選手が選抜されたことだけで、学校全体のスポーツがレベルアップされたと考えることである。選手層の厚い我が校では、士気になる選手の選抜を行ない、強奏に徹年選手を選び出していく事が必要である。今年出場できなかったクラブ員は、来年に意欲を燃やし、厚みのあるクラブ作りに徹底してもらいたい。

選手クラブに所属している人も、勉強の面に、少し時間をさいて、積極的に運動をする機会を求めて参加してもらいたいものである。

行事ごとに落書き

非常識な行動に不満の声

去年の十月二日の体育大会、ことしの六月二十三日の安保条約自動延長日、九月二十二・二十三日の文化展、と三度にわたり赤のスプレー式の塗料で落書きをされた場所はグランドの西側のブロック・正門・校舎・格技場の壁・スクールバスの乗車場である第一通りなどで、「反安保・軍国主義復活反対・南高生よ立ちたれ」以上校舎「文化祭を粉砕しよう・南高を革命の砦に反戦高連」以上格技場、という内容のものであった。

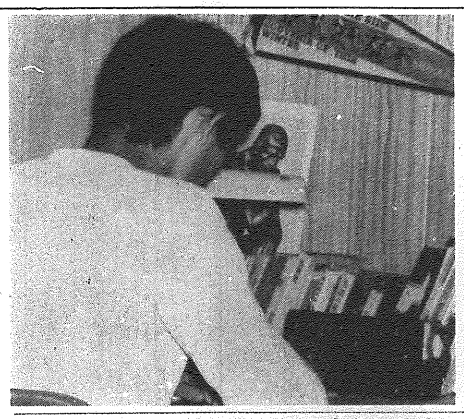
これに対し我校、他校でさまざまの意見が聞かれた。我校では、主義主張は結構だがあのような行ないはいいとは思えないと不満の声が多く、高校生の政治活動参加についても賛成の意見は聞かれなかった。中には過激体制が悪いという学校への批判もあった。他校生では南高がこんなに政治活動が活発であったとは知らなかった。という意見が大部分だった。

これについて校長先生は、書かれている内容はどうあろうとあの行ないは大変迷惑であり、県民の税金で造られた共の建築物にあのような落書きをされたことは非常に残念である。高校生の政治活動については、政治的教養を身につけることは結構であるが、それを活用し終すことはよくない。「政治活動はいけない」とはっきり宣べられた。

生徒会の意見として、竹下会長は、我々にはあの書かれている内容については理解できないのではないだろうか。簡単に答えを出せないのである。政治活動にしても生徒会としてはできるわけがないし、また校内にあるたくさんの問題に力を入れて解決していかなくてはならない。やるべきではないと思う。会長個人の考えとしては政治活動というものは自分自身にマイナスになるのではないだろうか。

教頭先生は、落書きに書かれていた内容そのものについては知らないが、考えを出すことはできない。あのような行ないそのもの自体が許せないことである。高校生の政治活動の参加は不適当ではないだろうか。と校長先生と同じ意見だった。

落書き、そのもの自体は公共物をよごし、傷つけ他人に迷惑をかけるなどで、非常識であるという意見が大半であり、主義主張はみとめても落書きという行ないには批判があふれていた。



深夜まで放送を聞く生徒

格技場に書かれた落書き

壮行会

国体へ三名

南高の年輪築く

ハンド・バスケとも破れる

十月一日体育館においてSHRを利用して岩手国体出場者の、壮行会が行なわれた。

国体出場者は、松下先生（バスケット）、三十二IRの野崎浩一君、三十二IRの内田賢一君（共にハンドボール）である。

野口校長は「我々の南高から国体出場者が三名出たことは、我が校にとって名誉であり、我が校の年輪を築いていくものである。日頃の努力を発揮してがんばって来てほしい」と激励のことばを贈った。「南高の年輪を築く」というのは、三無主義の南高生の心に、強く響いたのではないだろうか。

これに対して松下先生は、代表として「国体に参加することに意義があるが、しかし、出場するからには勝つことを目標にしてがんばってきたい」と述べられた。

この後、加藤副会長の指揮で校歌を斉唱したが、声が小さく壮行会にはふさわしい歌い方ではなかった。校歌斉唱を終え三十分間に亘る岩手国体出場者の壮行会を終了した。

壮行会について生徒にインタビューすると校歌は賛週に使うし、また応援歌がなくて、壮行会のイメージがなかった。またたいへん退屈で静かであった。ブラスバンドが出たにしても、器楽部が、何か演奏して激励すべきだ。という声があった。力強い応援歌で選手を励ます壮行会にしたいものだ。

国体出場選手が出かけようになったのは、伝統を築こうとしている我が校にとって、大変喜ばしくかつ意義のあることである。選手が選抜されたことだけで、学校全体のスポーツがレベルアップされたと考えることである。選手層の厚い我が校では、士気になる選手の選抜を行ない、強奏に徹年選手を選び出していく事が必要である。今年出場できなかったクラブ員は、来年に意欲を燃やし、厚みのあるクラブ作りに徹底してもらいたい。

選手クラブに所属している人も、勉強の面に、少し時間をさいて、積極的に運動をする機会を求めて参加してもらいたいものである。

交通教室開かれる

ワースト3の汚名挽回

交通事故防止週間ワースト3の汚名を挽回しようと、さる九月十四日、二十八日の両日にわたり、交通教室が視聴覚教室で開かれた。

この交通教室は免許所持者対象に行なわれたものだが、その数は多く、会場はほとんどいっぱいになるほどであった。

十四日は、免許指導課長である石川氏の話と、追突の恐ろしさを描いた映画が行なわれた。室は少し暗くし、後の方では話が聞きとりにくいという苦情も出た。

また、二十四日には交通事故の現場から撮影した処置までを、前に映したものが映写されたが、あまりにショッキングで、女生徒は悲鳴をつぎつぎにあげた。それに男生徒でも顔をそむける者が続出した。

昨年の本校の交通事故者数は市でなければわからないだろう。けれどもそのすばらしさも、交通規則を守ったうえでのことだ。一歩まちがえばどんなことになるか。あの映画にうつし出されたことが現実に自分のこととなる。オートバイに乗る生徒はなによりもまず自分を大切にしなければならない。車を軽視してはならない。

幸いなことに、二十四日に映写された映画のためか、このところ違反者は出ていない。免許所持を希望する生徒も獲得したら交通規則をよく守り、安全な乗り方でオートバイを運転しよう。

職員室だより

結婚のムードあり

高校生の政治活動参加について、生徒の間でも真面目に考えているのならいいのではないかという意見もあったが、先生と多くの生徒は口をそろえて行なうべきでは

内定した就職先

職務を忠実に

学年も後半にさしかかり、三年生の就職先もほぼ内定した。今年の求人企業社数は、県内で七〇六も多く、四〇一社の求人申込があった。あいかわらずの求人難である。就職試験は、例年よりも遅く八月一日から開始された。試験は学科が減り、面接が増え、調査書重視の傾向があり、本人中心の方向を示している。

今年の傾向としては、昨年と同様に、知売・小売業系が多い。製造業が減り、金融・保険業がふえたのが目につく。

さて、我校の生徒が、就職してからの評判はどうだろうか。

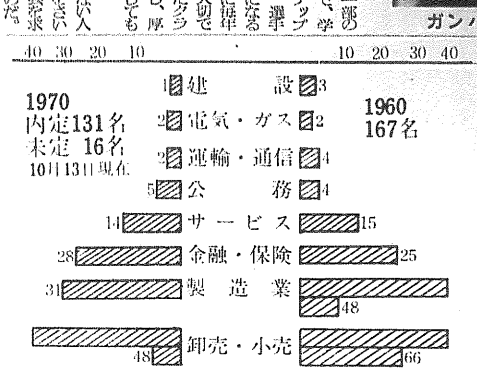
良い点として意欲的な姿にとりくむ。努力家である。

悪い点として、ことば使いが悪い、礼儀がなっていない。などがあげられている。

就職指導の先生から、就職者に対して望むことは、「職場に入ってからは、誠心・誠意で、職務に忠実に働いてほしい」とのことであった。就職者の考えは、みんなに劣らない程度にやる。職場の人に気にいられたい。自己的にならないようにする。などが出たが、全体的に、不安もあるようだ。最後に、自分の能力をフルに発揮して、仕事に取り組んでもらいたい。

次の表は、昨年の就職者の就職傾向を示したものである。今年もほぼ全員確定している。自分をためすという意味でも、また、自分をよく知り、最もあっている職場を選ぶことがたいせつだ。選んだからは、自分のため会社のために南高の一生徒であったほこりを持ち、がんばってもらいたい。

ガンバリマスと一言松下先生



去年と今年の就職先傾向

通学用革靴は…
ワシントン
田町　ワシントン靴店　TEL 52 4913
鍛冶町　ライオン靴店　TEL 52 2022
有楽町　ニューワシントン　TEL 52 1922
伝馬町㊥内　マルサ店　TEL 53 8115
内線 18

しあわせを呼ぶクローバー
楽しいお買物とお食事は……
遠鉄名店ビル
浜松市田町321　TEL 54—3131

《靴の専門店》
当学校女子靴指定店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
アツミヤ靴店
遠鉄名店ビル南　電話 53—0645

そのかみのひとのこ
ころもとつくにのひ
とのおもひもふみに
しらるる
谷島屋書店
連尺町本店　松菱7階
遠鉄名店ビル　泉町店
遠州浜団地

袋物 靴は
浜松駅前
広小路
辻梅

装いの楽しさをおおくりする
浜松駅前
洋装の
タルマヤ

メガネで生かそう
あなたの魅力！
至誠堂眼鏡店
浜松・伝馬町角・会議所前
TEL 52—6219

アクションとロマン、若者の広場

ヤングプラザジョイ……3階
ヤング5番街……2階
浜松市鍛冶町
松菱
TEL㊥54—1211

生徒会

地道な活動に期待

文化展進行上に計画不足

校舎内の黒板利用の徹底

一年間の最大行事である、文化展・体育大会の余韻を残しながら今、後期生徒会は弁論大会の準備をするかたわら、各委員会が活発に開き、数々の問題に取り組んでいる。そして各委員会で話し合われた結果を、校舎内の黒板を用いて生徒に報告している。この黒板の利用は、今までもあまり徹底されていなかったものだが、後期生徒会では、この徹底化に努めて、生徒会と生徒との連絡を完全なものにした。特に新しい試みはみられないが、地道な活動を心がけている生徒会本部である。

最近、制服・帽子・靴の問題になる。

ついては、野放しの状態のままである。前期の風紀委員会では、多数の生徒の要求により①帽子…自由化②制服…長袖にベストをつける、半袖はえり・色・ボタンを改良③靴…黒・皮靴・デザイン自由なとと決定し、正式ルート（一般生徒→風紀委員会→本部と風紀委員との話し合い→職員会議→校長）を通して、要求を行なうということであったが、これは前期の風紀委員会での案にすぎないのであることで。牛乳びんのあとかたずけ

生徒会本部の伝達に利用される黒板

これらの問題は、正式ルートのうちの"一般生徒"という段階において帽子・靴の自由化の利点・欠点を各H・Rで話し合い、全校生徒が盛り上がったところで次の段階に進むのであるが、その話し合いが活発でなく、今だに出発点にいる状態である。そのため、後期の風紀委員会ではこれらの問題にはいる前に、まず身近な徹底をすることである。

・名札などの問題をとり決めている。第一回目の風紀委員会では、牛乳びんのあとかたずけについて、一週間ぐらいの間各クラスの風紀委員が、自分で必ずかたずけるように呼びかける。それで徹底しなかった場合の対策としては、各クラスに牛乳びんをいれる箱を起き、その日の当番がまとめて返す（風紀委員会の案）・風紀委員がクループに別れて放課後に見回り、かたずける（生徒会の案）という案があり、名札については、全員がつけるように、牛乳びんの場合と同様、各クラスの風紀委員が呼びかけるということで、実際に牛乳びん・名札の呼びかけが行なわれている。

制服・帽子・靴の問題は風紀委員会でも、もちろん考えているしかし今後も考えていかなければならない大きな問題である。

後期生徒会本部の最大行事である文化展が、九月十九・二十日に開かれたが、進行における欠点・不満が一般生徒の間で聞かれた。進行における反省を執行委員長は「ことしは決定の仕事を細かくわけて行なったが、細かいところまで見ることができなかった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

作品においても、ただ展示だけというものが多かったが、来年の文化展は計画性のあるものにしてもらいたいものだ。

文化展・体育大会等の一学期の諸行事を終え、今後の方針を伺う会長は次のように語った。

後期の生徒会は、前期から受け継いで行なわねばならない仕事が多く、行事等が手薄がすでに細かく決められていて、思うようなことができない。そのため新しい計画を立てても、あきらめなくてはならないことが多い。たとえば、優勝旗・応援旗などを作ろうとしても、前期ですでに予算が組まれているために、あきらめなくてはならなくなる。

新いことを行なうということはできないが、各委員会等を多く呼ぶように、担当に活動していくようにしたいと思う。

生徒集会を開こうという意見はあるのだが、行事に追われてしまってなかなか実行できないのが現状である。今は各委員会で話し合った結果の生徒への連絡方法として、校舎内の黒板を活用している。前期では徹底していなかったが、後期ではこれを徹底させる。本部役員もやる気十分で、残された仕事をいっしょうけんめいやっていきたい。

残された仕事を控て、活発な動きが本部内に見られた。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

増加する落し物

紛失物には不満の声

最近、校内での落し物が多くなり、先生方の間で、あらためて注目されている。

係の落し物はふたつに分けられる。一つは、落し物があっても、落し主が受け取りにこない場合、一つは落し主から届け出があっても、その品物がない場合である。そして、大部分が前者である。そのうえ、落し物には名前のない場合がはれるため、石が自立つのでもっと多く、係から届ける事ができないのである。落し物は、落し主が見つけてしまうという問題がある。それ身が反省すべきであり、校内で、このようなことが無くなるためいろいろな意見を作ってゆく人達自ら、風紀委員会でも、この問題を取り上げて欲しいものである。又、生徒自身の自覚により、この問題を無決してゆこう。

生徒は進んで協力を

たいへんなバス通委員

元来、通学委員はバス・自転車とで構成されているが、最近、いくつかの問題が生じた。

バス通学委員の仕事は、六人から成るグループが三つに分かれ、二日づつ担当している。仕事内容は、①バスの定員（一台約七十名）を数える②バスに乗せて送り出す③車体清掃・時間・人数を記録することだ。また通学委員は、前期と後期に分かれ、前期は二・三年、後期は一・二年で受けもっている。

バス通学委員から、仕事がきつい・きびしいなどという不満が出た。そこで、生徒にインタビューしたところ、雨の日と冬は、とくにきつそう・そんなにたいへんなとは思わないという意見が出たが、やはり、きついと思う人の方が少しが多かった。本部では、「後期に代わったばかりなので、通学委員も仕事に慣れていないから忙しくみえるのではないか。また、一部の人の割り込みが、今もってなおなくなっていないので、通学委員もたいへんである」とのことである。当の通学委員は、やはり楽ではないという人が大部分で、なかには別に感じないという人もあった。

ところで、今後の対策であるが現在のところ、風紀・バス通学委員との間で話し合いがなされているが、まだ結論に達していない。

また、生徒は通学委員の仕事を楽にするための協力方法として、通学委員の注意をよく守り、バスに乗ってから中へもっとつめる・女子は積極的にしゃべり行く先などをあげられた。その他として、三年生の通学委員が忙しいほうがよいのではないかという意見もあった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

増加する落し物

紛失物には不満の声

最近、校内での落し物が多くなり、先生方の間で、あらためて注目されている。

係の落し物はふたつに分けられる。一つは、落し物があっても、落し主が受け取りにこない場合、一つは落し主から届け出があっても、その品物がない場合である。そして、大部分が前者である。そのうえ、落し物には名前のない場合がはれるため、石が自立つのでもっと多く、係から届ける事ができない

手は積極的にしゃべり行く先などをあげられた。その他として、三年生の通学委員が忙しいほうがよいのではないかという意見もあった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

作品においても、ただ展示だけというものが多かったが、来年の文化展は計画性のあるものにしてもらいたいものだ。

文化展・体育大会等の一学期の諸行事を終え、今後の方針を伺う会長は次のように語った。

後期の生徒会は、前期から受け継いで行なわねばならない仕事が多く、行事等が手薄がすでに細かく決められていて、思うようなことができない。そのため新しい計画を立てても、あきらめなくてはならないことが多い。たとえば、優勝旗・応援旗などを作ろうとしても、前期ですでに予算が組まれているために、あきらめなくてはならなくなる。

新いことを行なうということはできないが、各委員会等を多く呼ぶように、担当に活動していくようにしたいと思う。

生徒集会を開こうという意見はあるのだが、行事に追われてしまってなかなか実行できないのが現状である。今は各委員会で話し合った結果の生徒への連絡方法として、校舎内の黒板を活用している。前期では徹底していなかったが、後期ではこれを徹底させる。本部役員もやる気十分で、残された仕事をいっしょうけんめいやっていきたい。

残された仕事を控て、活発な動きが本部内に見られた。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

増加する落し物

紛失物には不満の声

最近、校内での落し物が多くなり、先生方の間で、あらためて注目されている。

係の落し物はふたつに分けられる。一つは、落し物があっても、落し主が受け取りにこない場合、一つは落し主から届け出があっても、その品物がない場合である。そして、大部分が前者である。そのうえ、落し物には名前のない場合がはれるため、石が自立つのでもっと多く、係から届ける事ができない

手は積極的にしゃべり行く先などをあげられた。その他として、三年生の通学委員が忙しいほうがよいのではないかという意見もあった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

作品においても、ただ展示だけというものが多かったが、来年の文化展は計画性のあるものにしてもらいたいものだ。

文化展・体育大会等の一学期の諸行事を終え、今後の方針を伺う会長は次のように語った。

後期の生徒会は、前期から受け継いで行なわねばならない仕事が多く、行事等が手薄がすでに細かく決められていて、思うようなことができない。そのため新しい計画を立てても、あきらめなくてはならないことが多い。たとえば、優勝旗・応援旗などを作ろうとしても、前期ですでに予算が組まれているために、あきらめなくてはならなくなる。

新いことを行なうということはできないが、各委員会等を多く呼ぶように、担当に活動していくようにしたいと思う。

生徒集会を開こうという意見はあるのだが、行事に追われてしまってなかなか実行できないのが現状である。今は各委員会で話し合った結果の生徒への連絡方法として、校舎内の黒板を活用している。前期では徹底していなかったが、後期ではこれを徹底させる。本部役員もやる気十分で、残された仕事をいっしょうけんめいやっていきたい。

残された仕事を控て、活発な動きが本部内に見られた。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

増加する落し物

紛失物には不満の声

最近、校内での落し物が多くなり、先生方の間で、あらためて注目されている。

係の落し物はふたつに分けられる。一つは、落し物があっても、落し主が受け取りにこない場合、一つは落し主から届け出があっても、その品物がない場合である。そして、大部分が前者である。そのうえ、落し物には名前のない場合がはれるため、石が自立つのでもっと多く、係から届ける事ができない

手は積極的にしゃべり行く先などをあげられた。その他として、三年生の通学委員が忙しいほうがよいのではないかという意見もあった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

作品においても、ただ展示だけというものが多かったが、来年の文化展は計画性のあるものにしてもらいたいものだ。

文化展・体育大会等の一学期の諸行事を終え、今後の方針を伺う会長は次のように語った。

後期の生徒会は、前期から受け継いで行なわねばならない仕事が多く、行事等が手薄がすでに細かく決められていて、思うようなことができない。そのため新しい計画を立てても、あきらめなくてはならないことが多い。たとえば、優勝旗・応援旗などを作ろうとしても、前期ですでに予算が組まれているために、あきらめなくてはならなくなる。

新いことを行なうということはできないが、各委員会等を多く呼ぶように、担当に活動していくようにしたいと思う。

生徒集会を開こうという意見はあるのだが、行事に追われてしまってなかなか実行できないのが現状である。今は各委員会で話し合った結果の生徒への連絡方法として、校舎内の黒板を活用している。前期では徹底していなかったが、後期ではこれを徹底させる。本部役員もやる気十分で、残された仕事をいっしょうけんめいやっていきたい。

残された仕事を控て、活発な動きが本部内に見られた。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

増加する落し物

紛失物には不満の声

最近、校内での落し物が多くなり、先生方の間で、あらためて注目されている。

係の落し物はふたつに分けられる。一つは、落し物があっても、落し主が受け取りにこない場合、一つは落し主から届け出があっても、その品物がない場合である。そして、大部分が前者である。そのうえ、落し物には名前のない場合がはれるため、石が自立つのでもっと多く、係から届ける事ができない

手は積極的にしゃべり行く先などをあげられた。その他として、三年生の通学委員が忙しいほうがよいのではないかという意見もあった。そのためフィナーレは、打ち合わせがまくいかなく、計画性のないものになってしまった」と語った。

作品においても、ただ展示だけというものが多かったが、来年の文化展は計画性のあるものにしてもらいたいものだ。

文化展・体育大会等の一学期の諸行事を終え、今後の方針を伺う会長は次のように語った。

後期の生徒会は、前期から受け継いで行なわねばならない仕事が多く、行事等が手薄がすでに細かく決められていて、思うようなことができない。そのため新しい計画を立てても、あきらめなくてはならないことが多い。たとえば、優勝旗・応援旗などを作ろうとしても、前期ですでに予算が組まれているために、あきらめなくてはならなくなる。

新いことを行なうということはできないが、各委員会等を多く呼ぶように、担当に活動していくようにしたいと思う。

生徒集会を開こうという意見はあるのだが、行事に追われてしまってなかなか実行できないのが現状である。今は各委員会で話し合った結果の生徒への連絡方法として、校舎内の黒板を活用している。前期では徹底していなかったが、後期ではこれを徹底させる。本部役員もやる気十分で、残された仕事をいっしょうけんめいやっていきたい。

残された仕事を控て、活発な動きが本部内に見られた。

研修会行なわれる　生徒は非協力的

生徒会夏期研修会が、八月十三日から十五日にかけて、住吉にある「三松青年の家」で参加員十五人によって行なわれた。参加者が六グループに分かれてグループワークをし、全体集会で発表をし

演劇教室

殉死をテーマに

名作の香りを味わう

「阿部一族」を観劇

「浜松高校演劇教室」が劇団前進座によって九月二十四日から十月三日まで開の八日間、浜松市民会館において開かれた。今回は森鷗外作の「阿部一族」が上演され、本校は、二十五日午前の部を観劇した。

演劇教室は初回の"夕鶴"から始まり、今回で第七回目を数えるまでに至っている。年ごとに参加校も増え、本年度は参加校二十五校、生徒数にして二万一千名が観劇した。常にテレビ・映画等を見慣れている私たちにとって、生の舞台であり、すぐれた演劇に接する唯一の機会である。

前進座の公演は四十三年（第五回）の"五重の塔"に続き、二度目である。四十周年を来年に控えてすぐれた作品を発表し、絶賛している。今回上演の「阿部一族」は昭和四十年にはテアトロン賞を受賞している劇団の傑作である。

森鷗外原作の「阿部一族」は鷗外が大正二年に発表したもので、封建時代において殉死を扱った一連の歴史小説の一作品である。鷗外が発表した一年前、乃木将軍の殉死事件があり、この事件と世間の反響が執筆の動機といわれているこの作品は、現在の私たちの社会生活からはとても想像がつかないものであろう。主従関係が人間関係を規定するという封建制において、殉死というやり方は、武家社会の一つの風習である。テーマである殉死ということは、この悪いこと。二%、わからない・賛成三二%、「殉死」という意見が多く、その他に「現代の世相の中に殉死のようなものが存在しているのではないか」「殉死だけではなく、ほかに何か訴えたかったのではないか」などという意見もあった。

これからどんなものを上演してほしいかについて「身近に感じられるもの」「どん底のように深く考えさせられるもの」「みんなが知っているもの」などがあった。具体的には「リヤ王、ジェーン・エア、雑生門、赤毛のアン、アンネの日記」などがあげられた。女子は現代劇の希望が圧倒的に多く男子では時代劇・現代劇がほぼ同じであった。

「阿部一族」は、現在の世の中と封建時代の世の中との比較・それから出てくる現代社会の長所と欠点の発見・歴史の勉強の一部となるなどの面が考えられ、よい観劇となったのではないか。その意味ではパンフレットに書かれている扇山演劇教室会長（興誠商業高等学校長）の名作の高い香りを十分味わってより豊かな心の糧となってほしいという願いが叶えられたのではないだろうか。年ごとに大きくなっていく「演劇教室」、来年第八回もすばらしい作品であり、私たちが成長できるものであるよう願いたい。そして、私たちも観劇態度を考え、次回演劇教室に臨みたいものだ。

演劇教室「阿部一族」の一場面

戦いがすんで太助と花形が語り合うところがよかった」などと感じない人が多かった。

観劇をする前に「阿部一族」の原作を読んだことがある人は五%だった。また二方、受けないという理由は「内容がむずかしくわからなかった」という声が多かった。

テーマは何だと思うかについて

最後の部分に感銘したような意見が三%、受けない理由は「内容がむずかしくわからなかった」という声が多かった。

テーマは何だと思うかについて

友情のベルマーク

新設の小学校に贈呈

去る7月17日、我校で集めたベルマークを、新設の大瀬小学校に贈った。

我校のベルマーク回収は、三年程前から行なわれていた。当時新設されたばかりの我校には、資金がなく、必要な備品があってもそれを手に入れることは容易なことではなかった。そこでベルマークを集めて備品に換えようとした。

回収方法は、特に回収日を決めず総委員会を通じて自由に回収した。その成果は好調で、何ヶ月かにわたって、「自分があっていなかった」、「苦手な科を頑張ろう」と思って入部したが、うまくいかなかった」、「おもしろくなかった」などであった。

クラブを変えた結果として「変えてよかった」と言う生徒が多かったが「転部しないでやり抜くべきであった」と後悔している生徒もいた。また、クラブ変えを認めない方針を取っているDRもあるが、「顧問との相談」の結果、自分に最も適したクラブを見つけて、活発なクラブ活動を行なっていくようにしたい。

それは、今年の四月の中旬ごろからはじまった。

集まったベルマークは、斎田先生の手によって、我校と同じ新設されたばかりの大瀬小学校に、贈り届けられた。その日の内におれいの電話が我校にかかってきた。そのあと、先輩から大瀬小学校の学手をさしのべようではないか。

めだつ一年生のクラブ変え

このごろ、一年生の中で、クラブを変える生徒がめだっている。そこで、クラブ変えをした生徒を調べて、インタビューした。

以前に運動クラブに所属していた生徒が、クラブを変えた理由としては、「練習がきびしくついていけなかった」、「いっしょに入った友達がやめると言ったので私もやめた」、「帰宅時間が遅くなった」などであったが、「顧問との相談」の結果、仕事は、清掃・カードの調査・場所（学年別）の徹底・自転車管理

取材日記

基月基貴、遅刻ばかりする。

ある日のこと、基月基貴、一週間ぐらい前から、校長先生にインタビューしてやろうと思っていた。それが、今、ようやく実行することができた。

トンボン（ドッペンツック）、中に入ると校長先生が「君たちの来る前に、男の子二人が"ひっかき"についてのインタビューに来たから、その人達のマネ名を教えてください」と言われたので、さっそく教えてあげた。すると二人は、たしかに○○さんに××さんだろう」と言われて、「マア」とビックリ……。いろいろな人の名を覚えておきたいのだぞ。

その後、"ひっかき"のことを聞くと、時間がないのに、といってはあまりのことで、我々に聞こえてきた。

二人は、何一つ返答することができなかった。シュン！

基月基貴、天気晴朗なれども心波高し。

校新聞にも掲載されていた。

中学校までは、どこの学校も回収していたにもかかわらず、生徒の間では、一年から三年生まで、全くなかった。二・三年生でも、勇気はほとんどないといってよかった。三年生の中には、我校でベルマーク回収を行なっていたのを、知らない人も、三人いた。

集まったベルマークの処分について答えた人は過半数であったが、僻の学校へ贈った、どこの中学校へ贈った生徒会本部が保管してある、などと答えはバラバラ。新設の小学校へ贈った、と答えた人がたった二人。

現在、生徒会本部では、ベルマーク回収の代わりとして、古切手回収を行なっている。回収方法はベルマークと同じ自由で、保健委員が中心となって行なっている。それは自宅で一本の注射に換えられ、赤十字に送り、それからネパールなどの貧しい国に送られるその金額を知っている生徒は少なく、感謝等しくないようだ。そこで、本部では保健委員を中心とし、生徒達に呼びかけるよう計画している。

ベルマーク回収に代わっての古切手回収の今後が期待される。是非、生徒会実行委員の方切手箱に、

苦情コーナー

資金面の問題多し

現在は解決困難

今回から生徒の声を取り上げることになった。生徒から、先生・上級生・下級生・生徒会・学校に対する苦情をインタビューして、その解答を載せ著者に尋ねるものである。今回は次の八問があげられた。

問　スクールバスの次時合を多くしてほしいのだが？（運動クラブ三年男子）

答　夏と冬とでは下校時間も違う下校時間の調査をしたい。これは学校側だけの問題ではなく、市のバス交渉と現在の状態になったためるから、市営バスの方を取り上げてくれるようにお願いする。

問　西鳳による子宮側の柵へ通行禁止の張紙が貼ってある。

答　生徒の学習状態を見るためで特別のことをやっているようには感じないし、定期的に行なうわけでもない。スリッパの音が気になるようなら、気をつけて歩くが、生徒が集中度に欠けているということもいえるのではないか。

問　"文化展"を"文化祭"に替えたい（一年男子）。

答　"展"の目的は、文化クラブの一年間の成果を展示・展覧することであるから、本校では今後も"展"のまま続けたい。別段他校の文化展と変わらないため、展のままを発揮してもらいたい。

問　①水道のコックがとれている②断水が時々起こる（一・二年女子）。

答　①コックは一度直したが、取れているのならつけるよう検討する②一度タンクの中に水をためてモーターで上げているので、これ以上に水を使用した場合、断水となる。草取の時にも断水であった。

問　いす・机がだいぶいたんでいる（二年男子）。

答　机・いす共に在庫があるので係でまとめて先生への手続きをしてほしい。

問　校長先生の校内回りが授業中気になる（三年男子）。

答　生徒の学習状態を見るためで特別のことをやっているようには感じないし、定期的に行なうわけでもない。スリッパの音が気になるようなら、気をつけて歩くが、生徒が集中度に欠けているということもいえるのではないか。

問　近くに良い主がなく、価格が高いため資金がない。日程の面で問題もある（三年男子）。

答　月一・二回各H・R生徒会報"希望"を発行しているが、生徒側が読んでくれないのではないかしてしまうという問題がある。それは主に一年生からの苦情であるが、一年はこの問題に対して頭を悩ませている。これも、各人が注意すれば、解決する事かもしれない。しかし、これは、人の

問　ロッカー・食堂・パンの自動販売機をつけてほしい（二年女子）。

答　三点共に予算に余裕がないため、ことし中は不可能。このうち

コックが取れて利用できない水道

パンの自動販売機は、設置した後、生徒は多種類のパンを希望するため取りつけるにはなお難しいなど、入れ替えも問題である。

「寒い北風の季節がやってきました
オリンピアのスクールコートをお求めください」
南高指定店　株式会社　オリンピア
事務所　浜松市富塚町　TEL 72—0637
営業所　浜松市伝馬町　TEL 54—4822
A.M.8:30～P.M.7:00

旅行カバン・学生カバン
季節のニューデザイン
ハンドバックとショッピングバック
中野屋
浜松・鍛冶町大通り 52-5049

スキー
スポーツ用品は
アオヤマスポーツ
浜松市肴町一四一の二
TEL (52) 九一四八

VISTA
オルマ1000
行動派のための
軽いプラスチック・レンズ
足立メガネ
連尺地下道西口（52）—5229

レコード・楽器・ステレオ
〈音楽教室〉ギター・ドラム・ピアノ・オルガン・琴
・レコードとあらゆる楽器
・一流ブランドステレオ展示
音のハイショップ
イケヤ
本店（有楽街）52-5151　鍛冶町店 53-5550
遠鉄名店ビル店 53-7814　袋井店 2-2529

RKオーディオセンター
コーポーネントステレオ専門店
浜松市旭町49（法雲寺正面）
RKソニーショップ
ソニー全商品専門店
RK商会
ICトランジスター　CRパーツ専門店
浜松市田町13—2（第一証券前）